

**横浜商科大学商学部在学中です
2006年度 高等専修学校卒 榎原 智浩**

7月末に前期試験が終わりました。2年になって急に授業が難しくなったように感じます。1年では語学も含めて必修科目がほとんどで、専門科目も「概要」のような基礎的な勉強だったので余計にそう感じるのだと思います。ただ、難しいと思う反面、大学生らしくなってやがいがあつなあとちょっと嬉しいです。

今年の夏休みは、就職試験講座を受けるつもりです。就職は流通業や小売業を考えているので、来年以降は販売士の資格を目指して講座をとっていきつもりです。また、今年の後期からは流通関係のゼミも始まるので楽しみです。大学ではサークルには入っていませんが、クラスで仲良くなった友達と、地方から出てきている友達の部屋でワイワイやっています。大学生活の後半は、車の免許をとって、友達と旅行したいです。

時々高等専修時代のことを思い出します。小さい学校だったけれど、先生との距離が近くて本当によかった。大学進学も、



自信のなかった自分のために先生方が必死になって応援してくれました。つい最近、初めての同窓会があつて、久しぶりにみんなに会えて

盛り上がりました。河東先生も志村先生も相変わらず元気です。若い!! また会いましょう!

**県立高校との教育連携拡大
今年度は横浜修悠館高校も加わり4校と協定**

岩谷学園は3年前より高校と連携を行い、教育交流の講座を開講しております。

数年前から高校では高校生のキャリア教育に様々な取り組みをされていたようですが、より実践的な部分での対策に苦慮されていたようです。この対策として1番多くみられたのが進路先

訪問です。しかしこれでは表面的な部分の理解で終わってしまいます。そこで岩谷理事長を中心に「仕事のまなび場」や「ジュニアB検」などの高校と専門学校との教育連携を実施してきました。

<右>へ続く>



**学生時代が原点に
1995年度 情報処理本科卒 小川竜也**

早いもので横浜簿記専門学校を卒業してから一回り経ってしまいました。現在は在学中の就職活動で内定をいただいたソフトハウス一筋で頑張っています。なので、今年で13年目に突入。一応、主任クラスにまで登りつめました。

入社当時はWindows95なんてのが登場したため学生時代に主に勉強したCOBOLの出番はなくCやVBが主流になっていました。が、COBOLで培ったロジックの考え方や情報処理関係の知識は今も業務で活かされています。20代はほんと仕事仕事の生活でした。残業は当たり前で2徹3徹の生活を送っていましたよ。当時は振り返るとよく生きていたなあつて思うくらい過酷でした。その副産物か学生時代60Kgだった体重がなんと89Kgまで膨れ上がっちゃいました。今は何とか69Kgまで落ちましたけどね。



28歳になり、そんな生活からようやく脱却できたので、それをきっかけに趣味を積極的に行うことにしました。周りの人に僕の趣味は何?って聞いたら皆迷わず「バスケ」と答えるでしょうね。それくらいバスケに没頭しています。ぶっちゃけバスケが中心に生活が回っているといつても過言じゃないですよ。

実はバスケも専門学校の時に始めたんですよ。当時はドリブルもまともにつけな超ドシロートでしたが、今はそこそこできるようになりました。当時の部員達にどれだけ近づけたか見せたいですね。今振り返ると仕事にしろバスケにしろ原点は横簿にあるんだなあと思いました。

この延長として、各県立高校と岩谷学園の個別の教育連携もスタートしています。初年度は県立川崎高校と協定を結びアーティスティックB、テクノビジネスそれぞれ週一回、半年間の講座を提供、14名が受講しました。美容やビジネスに興味のある高校生にとって、技術的にも、進路を考える意味でも十分な成果があったと評価されました。その結果、昨年は県立横浜櫻陽高校、県立厚木清南高校とも協定を結び、16名が参加、今年さらには県立横浜修悠館高校を加えて4校となり、30名の高校生が受講しています。

これからも高校連携を強化して、実践的な職業教育、自立出来る人材教育を早い段階から実施できるよう努力して参ります。



仕事を続けながら2年間で大学を卒業

後学期(10月開校)入学者募集中!
志願書受付期間 7月1日～10月31日(本学必着)



- 1 専門学校を卒業された方は3年次に編入学ができ、2年間で卒業をめざすことができます。
- 2 さらに簿記検定やビジネス能力検定など29種類の資格についても最大30まで単位を認定します。
- 3 本学の入学者の約80%が3年次編入学者であり、その中の約35%が専門学校卒業者です。
- 4 年間約350本のスクーリングをはじめ、本学の「学びやすさ」には定評があります。
- 5 「経営」「経営情報」「産業心理」など、時代のニーズに応える11コースを開設しています。
- 6 学費は初年度が21万2千円で、その中の授業料は分納が可能です。学費ローンも利用できます。



産業能率大学 通信教育課程
〒158-8632 東京都世田谷区等々力6-39-15 TEL:03-3704-4012

資料を無料でお届けいたします

- ▶24時間ダイヤル: 03-5972-5095
- ▶ホームページ: <http://www.sanno.ac.jp/tokyo/>
- ▶携帯からも請求できます

